

市議会議員小池みよ子の

ひたすら鹿嶋のために

# 活動報告 Vol.22

小池みよ子  
後援会会報 vol.22

【発行】

小池みよ子後援会

〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2

T E L 0299-83-5252

携帯電話 090-1690-0136

所属委員会 都市経済委員会委員長/議会運営委員会/議会改革検討協議会/広報公聴委員会委員長/鹿行広域事務組合議員

議会報告 平成29年度9月市議会 一般質問

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

今日も元気で  
おやつが美味しい！

10月は神無月、出雲では神有月と呼ぶそうです。日本中の神様が出雲に集まって会議を開くとか。日本を平和に導くような会議だと良いですね。この活動報告が出る頃は霜月、雨また雨の秋でしたが、秋を飛び越えて冬になってしまうのでしょうか。やはり異常気象ですね。皆様お風邪などひきませんように。

さて、今回の私の質問は大きく3点、公共交通問題、近々に起こるかもしれない災害対策について、そして、社会問題となりつつある引きこもりの問題について質問させていただきました。特に私の政治活動の多くを傾けて来た問題、公共交通問題についてはこの質問の後の公共交通会議で今迄のコミュニティバスの他に公共交通空白地帯に於いてはドア・ツー・ドアの乗り合いタクシー方式が採用されることに決まりそうです。注目していく下さい。

早いもので私の議員生活も8年が過ぎようとしています。その間、質問で取り上げた諸問題が担当課の努力と理解もあり一つ一つ解決に向かっている事を大変光栄でもあり、嬉しくやり甲斐のある仕事をさせていただいていると感謝しております。これからも市民生活の向上のため、ひたすら鹿嶋のために頑張ります。

これからも「住んで良かった鹿嶋」「住むなら鹿嶋」の実現のために努力を重ねて参ります。

皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。ご意見もお寄せください。

## 質問1、新しい公共交通の構築について



### Q1-1 計画の進捗状況について

新しい公共交通システムを来年4月からスタートさせたいとして、今、具体的な計画に入っているのは承知しております。まず、公共交通対策への市長のお考えをお聞かせください。

### A1-1 錦織市長

今後の本市のまちづくりにおいて公共交通の担う役割は非常に大きいと認識しております。地域公共交通の充実に務めているところで、車座懇談会などで市民の皆様にお話する機会で、さまざまな要望をいただきしております。公共交通を単なる移動手段ではなく、若年層の移住、定住促進や高齢者の健康づくり、生きがいづくり、さらには地域の活性化につなげるために、現在鹿嶋市地域公共交通再編実施計画を策定しているところです。市内公共交通の再編に当たっては、本市の実情に合った持続可能な公共交通体系を構築していきたいと考えております。

### Q1-2 今策定中の地域公共交通再編実施計画の進捗状況、交通空白地の対策についての具体的な施策などもお聞かせ下さい。タクシー券の利用について今後どのようにお考えなのかもお聞かせください。

### A1-2 政策企画部長

1つは公共交通空白地をカバーする公共交通の導入。2つ目は、市街地内の公共交通の充実。3点目は、鹿嶋市コミュニティバスの維持、充実について。4点目につきましては、広域路線バスの維持、充実などについて検討を重ね、平成30年4月以降の持続可能な公共交通体系の構築を目指しているところです。今年度中に実施計画の取りまとめ、各エリアの人口密度や位置によって大きく分けて二通りの対応を検討しております。人口密度の低い大野区域においては、路線バスよりも短い間隔で停車することのできるミニバスや、デマンドタクシーといった新しい公共交通の導入を検討しており、一方、人口密度の高い鹿島区域には現在のコミュニティバスの路線変更を検討し、それでもカバーできないエリアにつきましては、大野区域同様、新しい公共交通の導入の可能性を検討しております。鉄道やバスなどの既存の公共交通との共存、あるいは市の費用負担、事業者の運営体制の面でも持続可能な交通体系を構築していく必要があります。現在のタクシー利用券が金額的には年々増加の傾向にあり、制度そのものを見直し、あるいは改編をしながら取り組んでいかざるを得ないと認識しているところです。

### 要望

議員を拝命して8年。それ以前から地域福祉推進委員として地域のお年寄りと関わりました時から公共交通としての市民の足の確保に注目し、関わってきました。公共交通スタートのためのアンケート調査をし、また仲間と一緒にデマンドタクシーの運行に関する調査研究をしてきました。市の担当課へもさまざまな提言をしてきております。暑い日、寒い日、荷物を下げての外出は、年々足腰の弱ってきてる高齢者には無理があり、その不便さゆえに鹿嶋を離れて行く人が大勢いる事を認識していただき、高齢化と共にいずれ多くの人が車に乗れなくなる日のため、デマンド形式の乗合タクシーの構築を強く望む者として発言をさせていただきました。



↓ ウラ面に続きます。

## 質問2、災害への取り組みについて

Q1 災害備蓄品の在庫状況は充分なのか、お聞きします。  
水、食料品などの備蓄品の準備はいかがでしょうか。



A1 市民生活部長

避難所となる公民館など14カ所に防災倉庫を設置し、災害時の最大想定避難者を約5,000人として非常食の備蓄1日3食3日分、飲料水は1日1人3リットル3日分を設定しております。現物で公的備蓄が1日分の非常食1万5,000食、飲料水1万5,000リットル。企業などと協定を締結し、必要な物資を調達する流通在庫備蓄を2日分の非常食3万食、飲料水3万リットルとしてあります。災害非常用井戸を全ての避難所に設置、発電機の設置も全ての公民館防災倉庫に配備済です。

Q2 災害時の備えとして・・地区内居住者の把握について

A2 市民生活部長

個人情報の保護といった壁があり詳細な世帯状況まで把握していない現状です。ほとんどの自治会が情報を把握していない状況で、それぞれの地区の実情に合わせた情報の集約が行なわれているのが実態となっています。

Q3-1 緊急連絡先の把握について・・お聞きします。

A3-1 市民生活部長

市における災害時の緊急連絡先の把握としては、福祉事務所で管理。平常時における各地区の居住者の情報までは管理されていない状況で、各地区の実態に見合った災害時における適切な緊急連絡体制の構築に向けた取り組みを推進して参ります。



A3-1 健康福祉部長兼福祉事務所長

市では緊急連絡先等を含む名簿登録と情報提供の同意に関する文書を要支援者の家庭に発送して同意を頂く作業を進めてありますが、充分な回答が得られていないのが実情です。再度文書を発送して、現時点で289名の方から同意をいただき、その方々の名簿は今後避難支援等の関係者に提供し、平常時からの見守り活動にも活用して頂く予定です。あわせて避難をする際の個別計画の策定にも取り組んでいきます。

Q3-2 地震が起きてから、緊急事態が起きてから、個別に対応という趣旨の答弁がありましたが、事が起きてからでは間に合わないので。災害避難カード作成は何年計画で進めているのでしょうか。

A3-2 市民生活部長

平成30年度から31年度に係るモデル事業の状況を見ながら最終的な年度設定等を定め、全市的に早急な形で対応できればと現時点では考えてあります。

Q4 自治会への加入は救助のための大きな目安です。自治会加入の為の努力が見えなく残念です。加入者の増減についてお聞かせください。加入に当たっての成功事例がありましたならお聞かせください。

A4 市民生活部長

加入率は49.8%で、残念ながら目に見える形での加入率の向上に繋がる事例はないのが現状です。自治会活動の活性化に繋がる支援策の展開を粘り強く行ってまいりたいと考えてあります。

要望 市民と共につくるまちづくりですから、自治会活動が大事だと思います。隣近所が助け合うまち、公共交通の充実したまち、「住んで安心のまちづくり」この基本構想をきっちり皆さんで実行して、実現していただければ素晴らしいまちができるてくるかと思っております。私たち議員もしっかりと自治会活動しなくては成り立たないと肝に銘じてますが、担当課におかれましても加入率を上げる努力をしていただきたいと、この場をおかりして、改めて皆さんにエールを送りたいと思います。「自治会に入りましょう」

## 質問3、引きこもり成人に対する対策について

Q1 人数について

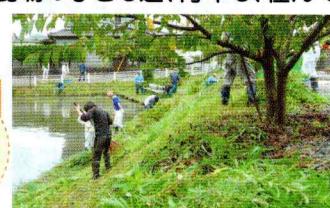
現在引きこもりは大きな社会問題の一つとして、国の施策としても大きく取り上げられるまでになっています。よく言われる言葉には宝だと言われます。市が把握している引きこもりの数についてお聞かせ下さい。



A1 健康福祉部長兼福祉事務所長

正確な数の把握というのは非常に難しい状況にございます。鹿嶋市では引きこもりという事象に対しての啓発と言ふものは具体的には行われていない状況です。今後、市としても国、県の動向等を注視し、あるいは情報共有をしながら、関係部署、市内関係機関の多職種協働の中で出来るとところから支援を行っていきます。

要望 国、県の動きを待っていないで早急に対策をとっていくべきだと私は思います。義務教育が終わった途端さようならではなく、追跡調査をしてみてください。1人1人が鹿嶋市の大切な、そして大きな財産です。鹿嶋の子ども達、青年も、住んで良かった鹿嶋を目指すために頑張っていただきたいと思います。



あなたの声を大切に！

ブログも覗いてみてください。

小池みよ子の思い

検索 <http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>

皆さまの  
ご意見もお気軽に  
お寄せください

鉢形九反田池は、地域の手で  
守られています。